

文化遺産を活かした地域活性化事業 実施報告

①都道府県・市区町村名	広島県廿日市市	②補助事業の種類	世界文化遺産活性化事業
③実施計画の名称	世界遺産「厳島神社」を活用した地域活性化プロジェクト		
④実施計画期間	平成27年度～平成31年度		
⑤過去の補助事業実績	交付決定額		
平成23年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業	—		
平成24年度文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業	—		
平成25年度文化遺産を活かした地域活性化事業	千円		
平成26年度文化遺産を活かした地域活性化事業	千円		
平成27年度文化遺産を活かした地域活性化事業	1488千円		
平成28年度文化遺産を活かした地域活性化事業	2342千円		
⑥計画の実施状況（概要）			
※平成28年度までに実施した計画の実施状況を記載してください。			
<p>平成27年度：シンポジウム「厳島神社その魅力と課題～外国からの視点も交えて」          日時：平成28年3月6日（日）          会場：宮島ホテルまこと          出演者：秋山伸隆（県立宮島大学教授、宮島学センター長）、福田道憲（厳島神社禰宜）、パトリック・ハーラン（東京工芸大学講師）、吉田真（タレント、「富岡製糸場大使」） 参加者 260名          特異な歴史・文化を持つ厳島神社に訪れるインバウンド客は増加している。彼らの期待に応え、さらなる増大を目指して情報発信や地域の盛り上がりを目指すことをテーマに有意義な提言が行われた。参加者からの発言も多く活発な展開であった。</p> <p>平成28年度：シンポジウム「厳島神社と日本-文化と歴史を巡って」          日時：平成29年3月24日（金）          会場：廿日市市中央市民センター          出演者：井上章一（国際日本文化研究センター教授）、秋山伸隆（県立広島大学教授、宮島学センター長）、福田道憲（厳島神社禰宜）、アレックス・カー（日本文化研究家）、柴田英紀（文化庁文化審議会 文化政策部委員）          参加者：200名          登録20周年を迎えた本年を締めくくり、今ここで、登録にあたって認められた前記厳島神社の普遍的な価値を振り返り、市民や文化・教育関係者や観光関係者に理解と共感を深めていく。</p>			
⑦事業実施による効果等の検証・分析結果			
※平成28年度までの計画の実施により得られた効果や実施以後の状況（人数、理解度、活用状況、人材育成などの指標に基づき、定量的・定性的な効果）を具体的に記載してください。			
<p>平成27年度実施のシンポジウム「厳島神社、その魅力と課題～外国からの視点も交えて」  <b>【人数】</b>250人の定員の会場に600人を超える申込者があり、この種のシンポとしては大変大きな反響があった。（目標値：250人 実績：600人 達成率：240%）<b>【理解度】</b>厳島神社の成立年代や建築様式に絡む歴史の問題や、外国人へのもてなしと理解の促進についてなど、終了直前の質問コーナーでは、様々な疑問と意見が飛び出し、パネラーたちと活発に議論がされていた。<b>【活用状況】</b>パネラーの秋山伸隆氏の教え子である、県立広島大学の宮島学の学生が11名も参加、シンポの運営に当たったのと同時に、宮島にまつわる議論を、シンポ終了後も深めていった。</p> <p>平成28年度実施のシンポジウム「厳島神社と日本-文化と歴史を巡って」  <b>【人数】</b>宮島島外であり平日の開催にも関わらず、200人定員の会場に220人を超える申込者があった。（目標値：200人 実績：220人 達成率：110%）<b>【理解度】</b>アンケートでは関心・理解が「とても深まった」「深まった」とする回答が80%を超えた。（目標値：80% 実績：80% 達成率：100%）また、コメントでも勉強になった、有意義だった、興味深かったなど、文化財に対する理解が深まったとする意見が多かった。<b>【活用状況】</b>景観の問題など、海外の有識者の講演を聞き知見を得ることで、国内の人間とは違った角度からの視点、価値観を学ぶことができ、参加者の景観保全に対する理解が進んだ。          ウェブサイト「歴史と文化の厳島神社」 厳島神社への理解を深める一助となった 閲覧数：9,000PV（平成29年3月31日時点）（目標値：10,000PV 実績：9,000PV 達成率：90%）          平成28年宮島総観光客数（目標値：493万人 実績：559万8千人 達成率：114%）</p>			